

公開セミナー&シンポジウム『2010年、コンテンツ産業の行方』～100年に一度の大不況。市場規模20兆円を実現するか?～

「拡大、発展を目指すコンテンツ産業」をテーマに、各コンテンツ分野の現状と発展するためのキーポイントについて、各業界の代表者が語ります。

過去10年以上、コンテンツ産業の市場や産業構造、人材育成について研究してきた民間調査機関、株式会社ヒューマンメディア(所在地:東京都渋谷区 代表取締役社長:小野打恵)は、コンテンツプロデューサーを養成する日本で初めての専門ビジネススクール、東京コンテンツプロデューサーズ・ラボの協力で、『2010年、コンテンツ産業の行方』と題したセミナーを開催します。

国策として「現在の14兆円を、2015年までに20兆円へ拡大させる」と宣言されたコンテンツ産業。

「拡大、発展を目指すコンテンツ産業」をテーマに、各コンテンツ分野の現状と発展するためのキーポイントについて、各業界の代表者が語ります。

【開催日時】2009年4月14日(火) 18:30開場/19:00開演/21:00終了予定

【会場】東京コンテンツプロデューサーズ・ラボ <http://www.tcpl.jp>

東京都新宿区下落合1-1-8 東京アニメーションカレッジ専門学校内(高田馬場駅より徒歩5分)

【申込方法】¥3,000(当日、会場でお支払い下さい) 先着50名様

要事前申し込み → <http://www.humanmedia.co.jp/event/index.html>

【お問い合わせ】株式会社ヒューマンメディア TEL:03(3401)5806 E-mail:
toukei@humanmedia.co.jp

【プログラム】

1. 基調セミナー「コンテンツ産業のいま～日本の市場構造、海外から見た日本」
小野打 恵(株式会社ヒューマンメディア代表取締役社長/TCPLゼネラルマネージャー)
2. 特別対談「20兆円市場の可能性、日本のコンテンツ産業の今後」
菊池 尚人 氏(慶應義塾大学大学院准教授/TCPL所長)
中村 伊知哉 氏(慶應義塾大学大学院教授)
3. シンポジウム「各コンテンツ分野の市場動向と人材育成」
聞き手:小野打 恵
竹中 禎一 氏(コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社常務執行役)

増田 弘道 氏(株式会社フロントメディア 取締役)

陸川 和男 氏(株式会社キャラクターデータ・バンク 代表取締役社長)

【登壇者プロフィール】

■小野打 恵

株式会社ヒューマンメディア 代表取締役社長／東京コンテンツプロデューサーズ・ラボGM

1985年に(株)ヒューマンメディアを設立、代表取締役に就任。メディアコンテンツに関わる市場調査・産業構造分析、「東京国際映画祭」、「秋葉原エンタまつり」企画・制作協力をはじめ、ポップカルチャー、都市・地域・建築・まちづくり関連の調査・事業PRやプロデュースを手がける。主な著書は、「デジタルコンテンツ白書」、「日本のポップパワー」、「コンテンツビジネス業界がわかる」、「日本と世界のコンテンツ市場データベース」など

■菊池 尚人 氏

慶應義塾大学大学院准教授／東京コンテンツプロデューサーズ・ラボ所長

慶應義塾大学経済学部卒業後、郵政省入省。電気通信局等を経て通信政策局課長補佐にて退官。現在、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構准教授のほか、東洋大学経済学部社会経済システム学科非常勤講師、インディペンデントコロムビア 代表、(社)デジタルメディア協会参与、(社)音楽制作者連盟FMP 総研主任研究員などを務める。

■中村 伊知哉 氏

慶應義塾大学大学院教授

1984年京都大学経済学部卒。2006年大阪大学博士課程単位取得退学。博士(政策・メディア)。1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。電気通信局、放送行政局、通信政策局、パリ駐在、官房総務課を経て1998年退官。1998年-2002年MITメディアラボ客員教授。2002年-2006年、スタンフォード日本センター研究所長。2006年10月、慶應義塾大学DMC機構教授。2008年4月より現職。

総務省参与、情報通信審議会専門委員、文化審議会著作権分科会専門委員。中間法人「融合研究所」代表理事、デジタルサイネージコンソーシアム理事長、NPO「CANVAS」副理事長、(株)CSK ホールディングス顧問を兼務。

著書に『通信と放送の融合のこれから』(翔泳社)、『デジタルのおもちゃ箱』(NTT 出版)、『インターネット、自由を我等に』(アスキー出版局)など。

■竹中 禎一 氏

コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社常務執行役

尚美学園電子音楽スタジオ主任講師を経て、スタンフォード大学CCRMA(音楽音響コンピュータリサーチセンター)客員研究員。ヤマハ(株)オンソフト制作室制作ディレクター。(株)BMGジャパン

ゼネラルプロデューサー(デジタルドリームファクトリ)。MTVIグループジャパン代表取締役社長。MTVジャパン代表取締役社長&CEO、アットネットホーム(株)音楽エグゼクティブプロデューサーを経てコロムビアミュージックエンタテインメントデジタル事業部長常務執行役、次世代コンテンツ流通フォーラムコンテンツ部会副部長、08年経産省民間委託プロジェクトAAAEI統括プロデューサー。現在に至る。

■増田 弘道 氏

株式会社フロントメディア 取締役

レコード会社でありながら、いち早く映画・アニメなどのコンテンツプロデュースを手がけたキティレコード(現在のユニバーサルジャパン)に1979年入社。マネージャー、レコード販売、ビデオ企画、キャラクターライセンス、映像・アニメプロデュースなどを担当。

1992年、キティフィルム退社後、出版・企画を手がけるドドプレス(現「ソトコト」)に入社。1997年、プランニング会社であるカイ・コーポレーション、児童書の出版社であるブロンズ新社とプロデュース契約。各種プランニングや単行本の編集を多数手がける。2000年、『アニマトリックス』や『時をかける少女』など、人気アニメの制作を手がける(株)マッドハウスの代表取締役就任。2005年退社。

現在、アニメ配信ビジネスを行うフロントメディアの取締役。著書に『アニメビジネスがわかる』(2007年NTT出版)がある。

■陸川 和男 氏

株式会社キャラクターデータ・バンク 代表取締役社長

広告・マーケティングの専門誌の編集者、マーケティング会社の研究員等を経て、2000年7月、株式会社キャラクター・データバンク設立。2002年10月より同社代表取締役社長。CDB事業の統括を行うかたわら、キャラクタービジネスのアナリストとしてTV・雑誌・新聞等でのコメンテーターや執筆、講演活動なども行う。2002年7月には、世界最大のライセンス協会LIMA(国際ライセンス産業マーチャンドライザーズ協会)を日本に誘致し、LIMA日本支部を設立。

現在、LIMA日本支部シニア・アドバイザー等、企業のアドバイザー業務等も務める。また2008年6月より東京大学大学院情報学環特任研究員。

著書に、「図解でわかるキャラクターマーケティング」(共著/日本能率協会マネジメントセンター)等がある。